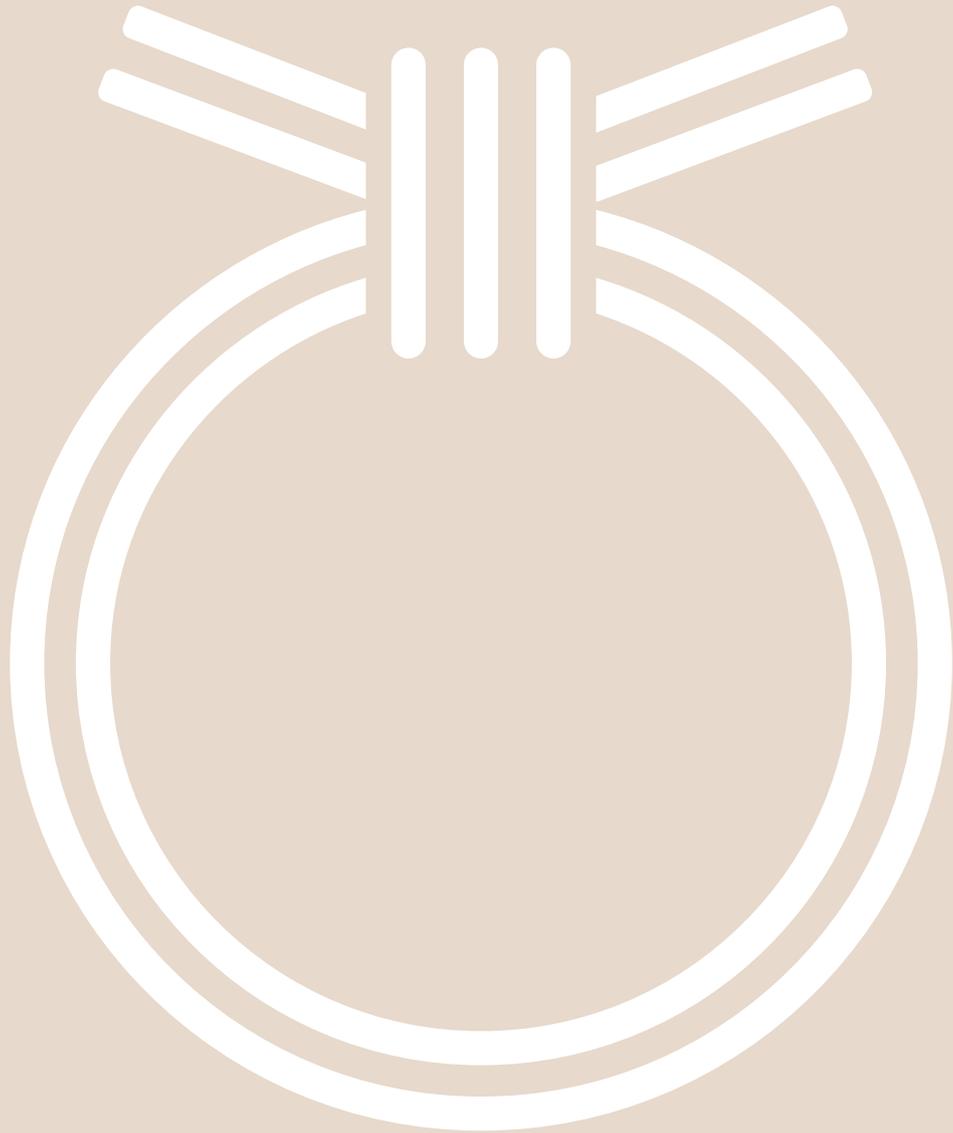


はあとプラン

〔第6次千代田区
地域福祉活動計画〕

2023-2027



本プランは、千代田区社会福祉協議会が策定する、地域福祉の推進を目的とした活動・行動計画（地域福祉活動計画）です。これからの千代田区に求められる地域福祉活動を職員が一丸となって戦略的かつ実践的に展開する基本方針となるものです。

詳しくはこちら



みんなが参加し、

活動目標 Vision

1

誰一人
取り残さない
地域社会づくり

2

身近な圏域に
おける多様な
活動の創出

3

地域共生社会
の実現

区の重要課題

多種多様な人たちが
地域課題を共有する場が
少ない

- 区民の約9割がマンション居住者。
- 身近な圏域（区内6つの出張所管内）ごとに課題が異なる。
- マンション等集合住宅の増加により子育て世代が流入。孤立した子育てをしている世帯が多い。
- 複雑多様な個別課題、地域課題が生じている中、それらの課題を住民が共有する場や機会が少ない。

制度の狭間で
困っている人や
社会的孤立への対応

- 個人情報共有するための仕組みが必要となっている。
- 各分野のコーディネーター相互の役割分担や連携・調整の仕組みが必要となっている。
- アウトリーチ（支援が必要であるにもかかわらず届いていない人に対し、行政や支援機関などが積極的に働きかけて情報・支援を届けるプロセス）や早期発見、早期対応の仕組みづくりが必要となっている。

重点テーマ

身近な圏域での地域内の
多様な人々が参画する
体制の整備

社協の取組

- 身近な圏域で生活課題を話し合う場の確保
- 身近な圏域ごとの常設相談窓口の整備（新規）
- 多様な人々が主体となった福祉活動の立ち上げや支援

多機関・多職種
連携の実践

社協の取組

- 地域福祉に関する効果的な情報発信と学習機会の提供
- コミュニティソーシャルワーカーの配置検討と、専門職としての能力向上
- 社協とほかの関係機関との連携強化（個別課題から地域課題への発展）

ささえ合うまちづくり

目標	めざすこと	社協のおもな取組
<h2>つどう</h2> <p>ふらっと立ち寄れる場所、多様な主体が出会える場をつくる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 気軽に立ち寄れ、安心できる場所を確保する ● 多様な人々が集い、お互いの存在を認め合える場所を確保する ● 気軽に悩みや困りごとが相談できる場所を確保する ● 様々な主体が知り合うプラットフォームを確立する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 身近な圏域ごとの常設相談窓口の整備（新規） ● 地域交流サロン等の居場所づくり ● 多世代交流イベントの企画・支援 ● 地域内の企業・団体・学生等との協働
<h2>気づく</h2> <p>地域の困りごとに気づき、解決の方法やまちづくりについて考える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の住む地域を知り、関心を高める ● 潜在的な地域の困りごとや日常の小さな異変に気づく ● よりよいまちづくりの方法について学び、考える ● よりよいまちづくりのために活動している個人や団体を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域福祉に関する情報発信 ● 地域に身近な生活課題を話し合う場と機会の確保 ● アウトリーチを中心とした調査と情報収集
<h2>ささえる</h2> <p>誰もが安心して暮らすために、身近な地域でのささえ合いの体制を整える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 一人ひとりのできることで「支え手」となって活躍し、ささえ合いのまちづくりを推進する ● 権利擁護支援が必要な人を早期発見し相談する ● 地域連携ネットワークを構築し本人に適した権利擁護支援を実現する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 権利擁護支援の体制整備(拡充) ● 支援会員、地域生活支援員・区民後見人等の地域における福祉人材の確保・育成 ● ボランティア活動の推進 ● 多様な人々が主体となった福祉活動の提案・立ち上げ・運営等支援 ● 生活福祉資金の貸し付け
<h2>つなぐ</h2> <p>地域住民や多様な機関が参加、協働する仕組みをつくる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● まちづくりに関心のある地域住民や関係機関に参加を呼びかける ● 参加者同士が協力してまちづくりに取り組めるようコーディネートする ● まちづくりや助け合いについての新たな仕組みを創造する 	<ul style="list-style-type: none"> ● コミュニティソーシャルワーカーの配置検討と、職員の能力向上（新規） ● 社協内部での連携強化（個別課題から地域課題への発展） ● 区内の社会福祉法人のネットワーク化 ● 介護と医療の連携強化 ● 各制度上のコーディネーターとの連携・調整

みんなで一緒にできること

目標	区民は…	地域団体 (町会・PTA等)は…	区につどい、学び、働く人たち (関係機関、企業、 在勤・在学者など)は…
つど う	<ul style="list-style-type: none"> ● 悩みを抱えている人や閉じこもりがちの人がいたら、一緒にサロン等に参加する ● 自分にとって心地よい居場所を見つけ、つどっている人と知り合いになる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の特色に合った、多様な人が参加したくなる取組の検討と実施 ● 地域内のおすすめのつどいの場を口コミで広める 	<ul style="list-style-type: none"> ● 場へ参加できない人へのアプローチ方法の検討(関係機関) ● 学校・職場の近くで、居場所や活動を見つける(学生・企業)
気 づ く	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域やご近所で知り合いを増やす ● 福祉や助け合いに関する講座等に参加し、知識を得る 	<ul style="list-style-type: none"> ● アクセスしやすい(敷居が低く自由度がある)情報発信をする ● 福祉部連絡会のような地区ごとの課題を共有する場へ参加する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 福祉部連絡会のような地区ごとの課題を共有する場へ参加する ● 学校や職場のある地域のことを知る(学生・企業)
ち ち え る	<ul style="list-style-type: none"> ● ふたばサービスやファミリー・サポート・センターの支援会員や、成年後見センターの地域生活支援員、ボランティア活動など、自分にできる地域活動に参加する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会資源を上手に活用した支援 ● 専門職にはない視点とできることでささえる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域ニーズに即したプログラムの企画や実施(関係機関) ● 自分にできる範囲でボランティア活動等に参加する(学生・企業)
つ な ぐ	<ul style="list-style-type: none"> ● 周囲の人の変化や異変があれば、町の人や相談機関に伝え、一緒に見守る 	<ul style="list-style-type: none"> ● 専門職やほかの団体と普段から顔の見える関係を持つ ● 地域の気になる人・異変に気づいたり相談を受けたら、身近な窓口へ相談する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域活動の中で抱えている問題を共有する場や、フラットな場へ参加する ● 地域内の活動や団体を知り、互いの強みを活かして支援する(関係機関)

